

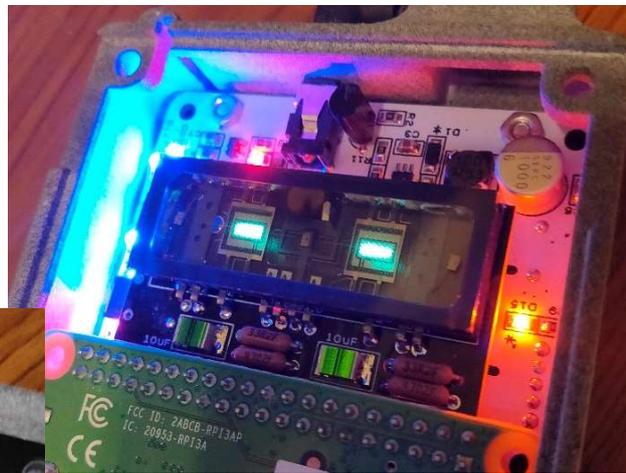
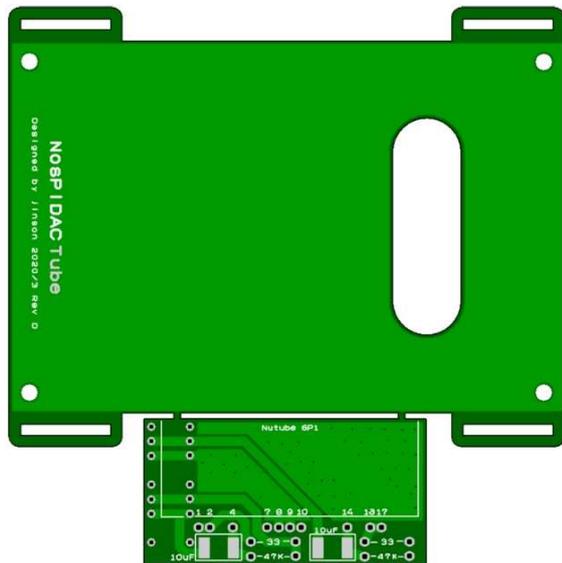
Nutube変換基板+バックパネル

NosPiDAC tubeに、Nutubeを使用できるようにする変換基板です。バックパネル付き

※本基板を使うにはNosPiDAC Tubeが必要です※

※ロットにより色合いが異なる場合がございますがご了承ください。※

※基板でつくってますので、多少のスレ、傷はあります。ご納得の上、購入願います。※



★部品表

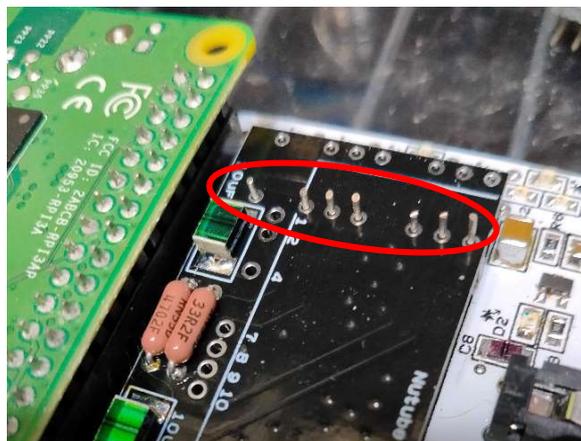
定数	部品番号等	数量
33	1/4W お好みの物を	2
47K	1/4W お好みの物を	2
10uF 16V PMLCAP	秋月 P-08057	2
N u t u b e 6 P 1	秋月 M-11130	1

Nutube変換基板+バックパネル

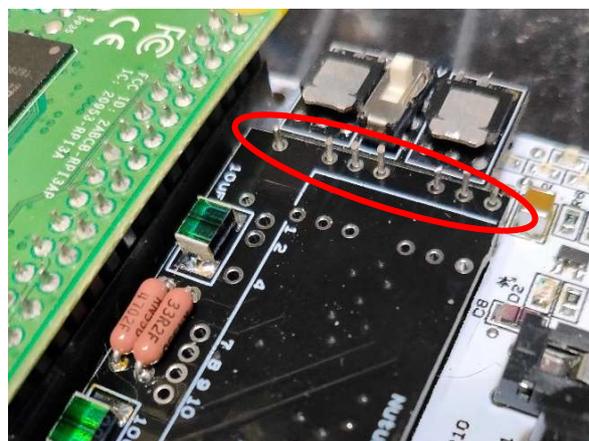
NosPiDAC Tubeとの結合は、フィラメント電圧切り替え基板を使うか、使わないかにより選択します。

電圧切り替え基板を使わない場合は、Nutubeがセンターきます。添付のバックパネルは、Nutubeがセンターにくることを前提として穴あけされています。

電圧切り替え基板を使わない場合



電圧切り替え基板を使う場合



ともに、抵抗やコンデンサのリードを使って接続します。

上にNuTubeが載りますので、基板とツライチになるようにリード線をカットしてはんだ付けします。またNutubeを最後に実装しますが、Nutubeの1番ピンがNosPiDAC Tubeのピンソケットに干渉する場合があります（電圧切り替え基板を使わない場合）その場合は、基板ツライチでNutubeの1番ピンをカットしてください。Nutubeはスポンジ系の両面テープで基板にかかるく貼り付けてください。

・ゲインが足りない場合

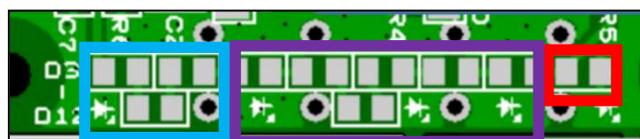
Nutubeはゲイン低めです。イヤフォンによっては音量不足になりますので、その場合は、NosPiDAC tubeのR14,R15の470Ωを2KΩに変更してください。

・NosPiDAC tubeを、Nutube専用にしてしまう場合

NosPiDAC tubeのR18,R19の1MΩは不要なので取り外します。
さらに、C16,C18も不要なので取り外してジャンパーにします。

・Nutubeの青目を明るくしたい場合

NosPiDAC TubeのB電圧を30Vにアップします。R10の47KΩを39KΩに変更。
LEDを秋月【I-10949】 青色チップLED SLC-0B126A-T1に入れ替えることにより可能ですが、PMLCAPの耐圧を超える為**自己責任**でどうぞ。



赤枠内、赤色OSR50805C1C
水色枠内、青色OSB50805C1C
紫枠内、青色SLC-0B126A-T1

B電圧が30Vになるように、紫枠、水色枠内のLEDを入れ替えて調整する。

以上